

2023年 法政大学 日本学生支援機構奨学金

スカラネット下書き用紙記入要領
・スカラネット入力要領

定期採用マニュアル-学部

申請書類提出期限 11月6日(月) 消印有効

■ 定期採用手続中の連絡

提出書類の不備不足や内容確認が必要な場合、申請書類に記入している学生本人の電話番号（携帯）に連絡します。

着信をよく確認してください。

○市ヶ谷キャンパス

法政大学 学生センター厚生課【TEL:03-3264-●●●●】

○多摩キャンパス

法政大学 学生センター多摩学生生活課【TEL:042-783-●●●●】

○小金井キャンパス

法政大学 学生センター小金井学生生活課【TEL:042-387-●●●●】

■ 奨学金採用後の手続きについて

初回振込日から約3週間後に採用書類一式を交付します。

（本学に登録の保証人様宛に郵送します）

書類申請から書類作成

給付

貸与

申請書類申請

大学の資料請求フォームから申請書類を請求。
申請期限がありますので、ご注意ください。

書類到着

到着したらすぐに開封し、『奨学金ガイドブック（本学作成）』
『定期採用マニュアル（本マニュアル）』や『奨学金案内（日
本学生支援機構）』等の資料を熟読してください。

出願内容の決定

奨学金の種類・月額・保証制度など奨学金を申込み上で決
めなくてはならないものが多いです。
必ず親御さんと一緒に考え、決めるようにしてください。

提出書類の用意

到着した書類の内容を確認し、提出書類一式を準備、送付し
てください。
また、収入に関する証明書や特別控除に関する証明書の提出
が必要な場合は、本学指定様式に添付のうえ提出してください。

スカラネット下書き作成

この要領のP.6以降を読みながらスカラネット下書き用紙を
全て記入してください。

資料請求期限:10月31日(火) 15:00

書類作成からスカラネット入力

給付

貸与

申請書類提出



申請書や提出準備が整った書類を本学へ郵送します。
郵送先は各キャンパスの奨学金担当窓口です。(p.47参照)

レターパックや簡易書留など記録が残り配達状況が確認できる方法で送付してください。

IDPW受理



本学に申請書類が到着しましたら、スカラネット入力に必要なIDとパスワードをメールで送付します。
(申請書類の内容を確認でき次第メールにて送付します。)

スカラネット入力

全て記入したスカラネット下書き用紙をもとにスカラネット入力をしてください。
ID・パスワード送付時に案内がある入力期限までに入力を終わってください。
期限を過ぎた場合、審査が進まず奨学金の推薦をすることができませんのでご注意ください。

申請書類提出期限: 11月6日(月) 消印有効

スカラネット入力後の手順

給付

貸与

マイナンバー送付
スカラネット入力後1週間以内



マイナンバー提出書セットの中にある、「マイナンバー(個人番号)の提出方法」を参考に、
簡易書留で日本学生支援機構宛に送付する
例年、マイナンバーを送らずに不採用となる学生がいます。
入力後の送付を忘れずに行ってください。

不備解消 (該当者のみ)



書類審査に伴い、確認事項や書類の不足が発覚した場合、
審査担当より申請者(学生)へご連絡します。
**※学生の携帯電話へ連絡がいきます。必ず申請者(学生)本人
が対応してください。**
※申請者多数の為、不備の有無を確認するお電話にはお応えできません。

採否発表 12月11日

採用が決定した場合は、1月11日(木)にスカラネットに入力した
銀行口座へ奨学金が振込まれます。必ず確認をしてください。
※採否結果について
法政大学情報ポータルサイトへ掲載します。
詳細は、奨学金ガイドブックP41を参照してください。

マイナンバー送付期限: スカラネット入力後1週間以内

スカラネット下書き用紙の記入について

◆スカラネット入力下書き用紙について

【給付のみ】

または【給付と貸与】の申込みを希望する方

⇒ 給付奨学金案内(ブルーの冊子)に挟まっている、

『スカラネット入力下書き用紙

【給付奨学金(貸与同時申込み)用】』を使用

The image shows a blue booklet cover on the left titled '2023年度在学用 給付奨学金案内' (2023 Academic Year Grant Scholarship Guide). An arrow points to the right, showing the 'スカラネット入力下書き用紙' (Form) for grant and simultaneous loan application. The form includes fields for name, school name, and application type, and a QR code for the application portal.

【貸与のみ】の申込みを希望する方

⇒ 貸与奨学金案内(ピンクの冊子)に挟まっている、

『スカラネット入力下書き用紙

【貸与奨学金のみ申込み用】』を使用

The image shows a pink booklet cover on the left titled '2023年度在学用 貸与奨学金案内' (2023 Academic Year Loan Scholarship Guide). An arrow points to the right, showing the 'スカラネット入力下書き用紙' (Form) for loan-only application. The form includes fields for name, school name, and application type, and a QR code for the application portal.

スカラネット下書き用紙の記入について

◆スカラネット入力下書き用紙について

以降の説明ページの右上に **給付** **貸与** と表記しています。

給付を希望する方は **給付** が表記されているページを確認してください。

貸与を希望する方は **貸与** が表記されているページを確認してください。

給付と貸与を希望する方は全てのページを確認してください。

※本要領内の見本画像は

『スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】』

を使用して説明を行っていきます。

貸与のみの方は『スカラネット入力下書き用紙【貸与奨学金のみ申込み用】』に置き換えて確認をしていってください。

※下書き用紙に表示している内容は2023年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2023年度
スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与同時申込み）用】



独立行政法人
日本学生支援機構
JAASSO Japan Student Services Organization

給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類によって回答の必要な設問が異なります。給付奨学金のみを申し込む人は、青色背景の設問のみにご答えください。給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む人は、青色背景と灰色背景の両方の設問にご答えください。

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>
 受付時間 8:00~25:00（最終締切日は8:00~24:00）
 ※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。
 入力所要時間の目安は30分~1時間です。

氏名	学籍番号	学部・学科・分野
----	------	----------

受付番号

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- ・マイナポータル提出書
- ・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子16ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入力内容記入欄】

識別番号入力
あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。
 ※（注）パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID パスワード

奨学金学種（学校）・申込の選択
あなたはどの学種で奨学金を受けたいですか。

大学の場合の表示例
申込み奨学金を複数選択。「次へ」ボタンをクリックしてください。

(1) 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金
 ● 現在在学している大学での奨学金を申込みすることができます。

(2) 兼計兼受採用（給付奨学金のみ）
 ○ 生計維持者に特定の事由が生じたことで兼計兼受し、申込後の収入状況が住民税情報に反映される前に変更を要する場合はのみ申し込むことができます。
 ※学校で申込資格を確認してください。

高等専門学校の場合の表示例
申込み奨学金を複数選択。「次へ」ボタンをクリックしてください。

(1) 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金
 ● 現在在学している高等専門学校での奨学金を申込みすることができます。

(2) 兼計兼受採用（給付奨学金のみ）
 ○ 生計維持者に特定の事由が生じたことで兼計兼受し、申込後の収入状況が住民税情報に反映される前に変更を要する場合はのみ申し込むことができます。
 ※学校で申込資格を確認してください。

大学（通信課程）の場合の表示例
申込み奨学金を複数選択。「次へ」ボタンをクリックしてください。

(1) 定期採用（専修スクーリング又は専修スクーリング）
 ● 現在在学している大学での奨学金を申込みすることができます。

(2) 兼計兼受採用（給付奨学金のみ）
 ○ 生計維持者に特定の事由が生じたことで兼計兼受し、申込後の収入状況が住民税情報に反映される前に変更を要する場合はのみ申し込むことができます。
 ※学校で申込資格を確認してください。

氏名・学籍番号記入

※学部・学科・分野は正しい名称を記入すること

スカラネット入力後に表示される受付番号を記入

⇒この番号が表示されない場合は
 ⇒申込みが受付されていない可能性
 ⇒があります。

識別番号入力

ユーザID・パスワードは、申請書類送付後、大学より配付するメール『入力許可証(ID・パスワード通知書)』に記載されているものを記入してください。

奨学金申込専用ページ

ログイン

申込ID: 2023

パスワード

【パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。】

メールアドレス登録

登録するメールアドレスを入力してください。

【登録するメールアドレスについて】

- 申込IDやパスワードを忘れた場合の、申込IDの通知やパスワード初回時の確認に使用されます。送付メール設定をしている場合、認証メールが届かない可能性があります。(jss@ses.jssco.go.jp)からのメールを受信できるようにしてください。

【パスワードの設定】

初回のみ「マイナンバー提出書」に印字されているパスワードの変更が必要です。新しいパスワードを設定してください。

- 【パスワードの管理について】
- ◆第三者に推測されやすい数字や英字(生年月日、電話番号、氏名のイニシャル等)を使用しないでください。
- ◆第三者にパスワードを教えないでください。
- ◆第三者の目につく場所(インターネット)にパスワードを記入したメモを残さないでください。
- ◆【パスワードの作成条件】
- 半角の英字、数字を含む組合せであること。
- 8～16文字以内であること。
- 申込IDと異なる文字列であること。
- 現在登録済みのパスワードと異なるものであること。

メールアドレス認証

入力したメールアドレスに認証コードを送信しました。メールに記載の認証コードを入力してください。

アカウント情報確認完了と表示されたら、メールアドレスと申込IDを「給付奨学金案内」裏表紙の「お返書」に書き写してください。お返書とメインメニューが表示されます。「奨学金申込」をクリックします。

STEP1 確認書兼同意書の提出

※給付奨学金の申込にあたっては、「確認書兼同意書」を「給付奨学金確認書」に、「貸与申込条件等」を「給付申込条件等」と読み替えてください。

あなた(あなたが未成年(18歳未満)の場合は、あなたと親権者または未成年後見人)は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出しましたか。

- 貸与申込条件等
- 個人信用情報の取扱いに関する同意事項

※「個人信用情報の取扱いに関する同意事項」には、経理するとあなたの個人情報が個人信用情報等に登録される等、重要な内容が記載されています。

提出しました。

提出していません。

下の【経理等を表示】ボタンを押して経理等(保証委託約款を含む)を確認し、了承する場合は、申込みを行ってください。

※経理等を確認しなければ、次の画面に進むことはできません。

次の画面に進みます。下の【次へ】ボタンを押してください。

STEP2 日本学生支援機構奨学金の案内

- 給付奨学金
- 貸与奨学金
- 第一種奨学金
- 第二種奨学金
- 利子付奨学金

「マイナンバー提出書」に記載されている
申込ID・パスワードを記入
申込みデータと提出書を紐付ける情報です。
間違えないようにして下さい。

マイナンバー提出書

スカラネット(インターネット)奨学金申込用

申込ID: ZD21096473

パスワード: BZAAC4

申込者本人(学生・生徒)	氏名(署名)	20 年 月 日	記入日(西暦)
	マイナンバー		
	生年月日	昭和・平成 年 月 日	
	現住所	〒 - - 市町村	郵便番号
	電話番号	(固定)	
	学校名		
	提出必要書類	番号確認書類と身元確認書類(裏面参照)	
	<input checked="" type="checkbox"/>	スカラネットから奨学金を申請する場合は、チェックしてからマイナンバーを提出してください。(※この提出欄は、上記の書類を提出する際に必ず提出してください。)	
	【生計維持者は、スカラネットのマイナンバーを提出してください。】		
生計維持者①	氏名(署名)		職名
	マイナンバー		
	生年月日	昭和・平成 年 月 日	
	提出必要書類	番号確認書類(裏面参照)	
生計維持者②	氏名(署名)		職名
	マイナンバー		
	生年月日	昭和・平成 年 月 日	
	提出必要書類	番号確認書類(裏面参照)	

※マイナンバー提出書
セット
(緑色の封筒)
の中に入っています。

「給付奨学金案内」P21、「貸与奨学金案内」P42を見ながら、画面の指示に従って進めてください。

(1) あなたの氏名・誓約情報

日本学生支援機構理事長 興

私は貴校様奨学金の中心にあり、学校に提出した「誓約書兼申請書」及び「給付奨学金申請書」にしたがい、奨学生に任用決定後は速やかに貸与奨学金（返還型）を提出し、貸与が終了した後、または給付に返還の義務が生じた場合には速やかに返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日 西暦(4桁) 年 月 日
(半角数字)

漢字氏名
5文字以内 5文字以内

カナ氏名
15文字以内 15文字以内

生年月日の入力を誤ると、正しく半角平定を行
うことができませんのでご注意ください。

生年月日 年 月 日生

国籍 日本国籍 日本国籍以外

国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。
※在留資格が永住者又は特別永住者の場合は、在留期間（満了日）の入力は不要です。

在留資格

在留期間（満了日） 西暦(4桁) 年 月 日

在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。 はい いいえ

※誓約日は以後訂正することができません。

◆給付奨学金支援区分の情報提供の確認◆
あなたが給付奨学金を申込みの場合は、あなたの給付奨学金における審査結果（支給額の割合に関する情報を含む。）について、機関のシステム等を通じて在籍する学校に必要な形で提供します。
同意します

◆第一種奨学金の貸与月額の確認◆
あなたが第一種奨学金（奨返還、無利子）と給付奨学金又は授業料等減免の支援を併用で受ける場合は、政令等の規定に基づき、給付奨学金の支給月額及び授業料の減免額に応じて、第一種奨学金の貸与月額が調整（減額または増額）される場合があります。調整の結果、借入額が増額となる場合は、別途返済が必要になります。また、調整後の貸与月額につき選択が可能な場合は、機関の定めるところにしたがい、調整前の貸与月額と同額以下の貸与月額に調整されます。
同意します

STEP3

(2) 奨学金申込情報

1. 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。
希望します
希望しません

※給付奨学金の対象者は、進学先の大学等において前送手続きをすることで授業料や入学金の減免を受けられます。
参考：支給月額一覧（PDF）

2. 貸与奨学金（只額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますが（現在、貸与奨学金を受けている場合、(c) の (8) - (14) を選択する方以外は「希望しません」を選択してください）。
希望します
希望しません

あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

(a). 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。

(1) 第一種奨学金のみ希望します。
 (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
 (3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。

(4) 第一種奨学金及び第二種奨学金の併用貸与のみ希望します。
 (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合、第一種奨学金のみ希望します。
 (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
 (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。

(8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。
 (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
 (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 (12) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望しますが、併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。
 (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望しますが、併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。
 (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望しますが、併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。

※(12) は欠番です。
上記 (8) - (9) - (10) - (11) - (13) - (14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号
(半角数字) (例) 822 04 9999999

① 一あなたの氏名・誓約情報
誓約日はスカラネットに入力した日
氏名漢字・カナは全角
例) 全角 ア 半角 ア
(文字数に制限あり) 入るところまで入力
生年月日を入力
国籍を選択
※外国籍の方は在留資格・在留期間を入力

② 一奨学金申込情報
給付奨学金・貸与奨学金の希望を確認
※貸与奨学金の申込み番号については
次ページを参考にしてください。
※(4)は併用基準を満たさない場合、どちらも採用されません。

現在第一種奨学金を借りている方が給付奨学金を申し込むにあたって

給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合は、第一種奨学金の貸与月額は併給調整されます。

現在第一種奨学金の貸与を受けている方が、今回新たに給付奨学金を申請し採用された場合、採用された月以降の第一種奨学金の振込については停止または振込金額の調整がされますが、すでに振り込まれた給付奨学金について、返金が必要となる場合があります。

給付の支援区分変更による第一種奨学金の調整について

毎年、世帯の所得金額に基づき支援区分を確認します。支援区分が変更になった場合、第一種奨学金の金額が増減することがあります。

区分の変更があった場合は、毎年10月の振込分から反映します。

このとき、新しい支援区分に基づき、受給資格がある第一種奨学金の金額調整が行われます。

今まで給付奨学金が第Ⅱ区分で第一種奨学金が0円で振込がなかった方が、支援区分変更により「区分外」となった場合、第一種奨学金の振込が自動的に再開されます。

貸与奨学金の申し込み番号について

貸与

現在奨学金を借りている場合の申し込み番号について

(現在1年生で採用候補者となっており奨学生番号がない場合も含む)

すでに借りている奨学金	第一種奨学金	第二種奨学金
併用貸与希望 (一種二種を同時に借りる)	(10) を選択 併用貸与の要件を満たさない場合、第一種奨学金の貸与が残る	(11) を選択 併用貸与の要件を満たさない場合、第二種奨学金の貸与が残る
異なる奨学金種への変更	(8) を選択 ※3参照 第二種奨学金への変更を希望 第一種奨学金は残らない	(9) を選択 ※3参照 第一種奨学金への変更を希望 第二種奨学金は残らない
併用貸与不採用の場合異なる奨学金へ変更したい	(13) を選択 ※3参照 併用貸与が不採用だった場合、第二種奨学金への変更を希望	(14) を選択 ※3参照 併用貸与が不採用だった場合、第一種奨学金への変更を希望

※1 第一種奨学金は10月からの貸与始期です

※2 第二種奨学金は貸与始期を10月から3月まで選択できます

※3 併用貸与を希望していたが要件を満たさず異なる奨学金種へ変更となった場合、10月からすでに重複した期間振り込まれた奨学金貸与額を返還する必要があります。

貸与奨学金の申し込み番号について

貸与

現在奨学金をまったく借りていない場合の申し込み番号について
(以前借りていたが、辞退や廃止などで現在受給中の奨学金がない場合も含む)

申し込み番号	申し込み内容と注意事項
(1)	第一種奨学金のみ希望 (給付との併給調整注意)
(2)	第一種奨学金が第一希望 第二種奨学金が第二希望 (第一種が採用されたら第二種は不要)
(3)	第二種奨学金のみ希望 (貸与総額に注意)
(4)	第一種奨学金と第二種奨学金との併用で採用されなかった場合、奨学金を借りない (併用以外一種も二種も不要)
(5)	併用貸与が不採用だった場合、第一種奨学金のみ希望
(6)	併用貸与が第一希望 第一種奨学金が第二希望 第二種奨学金が第三希望

貸与のみの方はP.5

③-あなたの在学情報 大学の場合

1. 学校
 (1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ××大学
 (2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字記号)
 (3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。 (3)
 (注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の表示にしたがって選択してください。
 (4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) いいえ 専攻科 別科
 (5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字) 学年
 (6) 昼夜課程を選択してください。
 (6) 昼(昼夜開講含む) 夜 通夜スクーリング 夜間スクーリング
 (7) 専攻科・別科に在学している場合は、次の月・日を入力してください(専攻科・別科に在学している場合は、専攻科・別科の学籍番号を記入してください)。
 ○1現在通っている学校の1年次に入学した。(専攻科・別科に在学している場合を含む)
 →入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
 ○2現在通っている学校の2年以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した。(以下の3つの年月を全て記入してください)
 →現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月:
 西暦(半角数字4桁) 年 月
 →現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月:
 西暦(半角数字4桁) 年 月
 →現在通っている学校へ編入学又は転学した年月:
 西暦(半角数字4桁) 年 月
 ○3現在通っている学校の2年以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入学又は転学の前に在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある)。(以下の5つの年月を全て記入してください)
 【1回目の編入学】
 →2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月:
 西暦(半角数字4桁) 年 月
 →2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月:
 西暦(半角数字4桁) 年 月
 →2回目の学校へ編入学又は転学した年月:
 西暦(半角数字4桁) 年 月
 【2回目の編入学】
 →現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月:
 西暦(半角数字4桁) 年 月
 →現在通っている学校へ編入学又は転学した年月:
 西暦(半角数字4桁) 年 月

③ - あなたの在学情報

(2) 学籍番号 7桁 (例: 23C9999)

※間違えないように注意してください。

(3) 所属学部名をプルダウンで選択

(4) 専攻科・別科の確認は『いいえ』を選択

(5) 学年は〈入学・卒業予定年月早見表〉を参照し記入
 編入学の場合は、編入した学年を記入

※下書きのページ内、右側にある注釈をよく読んでください。

(6) 昼夜課程は『昼(昼夜開講含む)』を選択

スカラネット入力下書き用紙 P.4

給付

貸与

貸与のみの方はP.5

(7) 通常入学の方は、
①に入学年月を記入
他学校から編入学・転学をした方は
②または③の内容を記入

(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。
 (9) あなたの正規の修業年数を記入してください。

(10) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。
 (11) あなたの正規の修業年数を記入してください。

<入学・卒業予定年月早見表>

2023年4月現在 1年生			2023年4月現在 2年生		
修業年数	入学年月	卒業予定年月	修業年数	入学年月	卒業予定年月
2年		2025/3	2年		2024/3
3年		2026/3	3年		2025/3
4年	2023/4	2027/3	4年	2022/4	2026/3
5年		2028/3	5年		2027/3
6年		2029/3	6年		2028/3

2023年4月現在 3年生			2023年4月現在 4年生		
修業年数	入学年月	卒業予定年月	修業年数	入学年月	卒業予定年月
3年		2024/3	4年		2024/3
4年	2021/4	2025/3	5年	2020/4	2025/3
5年		2026/3	6年		2026/3
6年		2027/3			

※長期継続修学生について
 長期継続修学生（「給付貸与会案内」5ページ参照）については、原則として奨学金を受けることのできる期間は通常課程の標準修業年数に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年数は通常課程の標準修業年数を記入のうえ、学校担当者へ申し出てください。

(10) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。
 ※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押すと住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

(11) あなたの通学形態を選択してください。
 ※社会的養育を必要とする人が、児童養護施設等や短期等の中から通学し、本人居住にかかる費用（家賃）を負担していない場合は、「自宅通学（またはこれに準ずる）」を選択してください。
 ※社会的養育を必要とする人を含む独立生活者が居住にかかる費用（家賃）を支払っている場合は、学校までの通学距離・時間等に問わず「自宅外通学」を選択し、下記説明にて「支障が生じる」を選択のうえ、支障が生じる理由の入力欄に「独立生活者である」等を入力してください。

○自宅通学（またはこれに準ずる） ○自宅外通学

上記で「自宅外通学」を選択した人にお知らせします。
 「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するものを全て選択してください。

- ①実家（生計維持者）が住む住所から大学等までの通学距離が片道10キロメートル以上
- ②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
- ③実家から大学等までの通学費用が1万円以上
- ④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下
- ⑤その他のやむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

上記で「⑤その他のやむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合は、卒業継続に支障が生じますか。

○支障が生じる ○支障が生じない

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

「自宅外通学」となるあなたの居住住所を入力してください。

住所 1 (自動入力)
 住所 2 (番地以降)(全角文字)

(8) 正規の卒業予定期
 2023年4月時点での卒業予定期を記入

休学などの経歴がない学生

1年: 2027年3月 3年: 2025年3月
 2年: 2026年3月 4年: 2024年3月
 ※秋学期入学者は3月を9月に読み替えてください。

(9) 正規の修業年月
 全員「4年0か月」と記入

貸与のみの方はP.6

(10) 通学するキャンパスの住所 各キャンパスの住所は以下の通りに記入

キャンパス	郵便番号 (半角入力)	住所 1	住所 2 (全角入力)
市ヶ谷	102-0071	東京都千代田区富士見 2 丁目	1 7 - 1
多摩	194-0211	東京都町田市相原町	4 3 4 2
小金井	184-0002	東京都小金井市梶野町 3 丁目	7 - 2

※入力の際は、郵便番号を入力し、検索をすると住所の候補が表示されるので、その候補から『住所1』を選択して、『住所2』へ続きの番地以降を全角で入力してください。

(11) 通学形態を選択

「自宅外通学(またはこれに準ずる)」を選択した方は、適用要件へチェックし、自宅外の住所を記入
(書類提出が必須です)

(9) あなたの前期の卒業予定月を入力してください。

(10) あなたの前期の卒業予定月を入力してください。

(11) あなたの前期の卒業予定月を入力してください。

＜入学・卒業予定年月表＞

2022年4月選考 1年生			2022年4月選考 2年生		
受験年度	入学年度	卒業予定年月	受験年度	入学年度	卒業予定年月
2年		2024/3	2年		2023/3
3年		2025/3	3年		2024/3
4年	2022/4	2026/3	4年	2021/4	2025/3
5年		2027/3	5年		2026/3
6年		2028/3	6年		2027/3

2022年4月選考 3年生

受験年度	入学年度	卒業予定年月
3年		2023/3
4年	2020/4	2024/3
5年		2025/3
6年		2026/3

2022年4月選考 4年生

受験年度	入学年度	卒業予定年月
4年		2023/3
5年	2019/4	2024/3
6年		2025/3

※長期継続修業学生について

(10) あなたの通学するキャンパスのある住所を入力してください。

住所 1 (半角入力)

住所 2 (全角入力)

(11) あなたの通学形態を選択してください。

「自宅外通学」を選択した方には、適用要件へチェックし、自宅外の住所を記入してください。

「自宅外通学」を選択した方には、適用要件へチェックし、自宅外の住所を記入してください。

「自宅外通学」を選択した方には、適用要件へチェックし、自宅外の住所を記入してください。

「自宅外通学」を選択した方には、適用要件へチェックし、自宅外の住所を記入してください。

「自宅外通学」を選択した方には、適用要件へチェックし、自宅外の住所を記入してください。

◆住所を入力する際の注意点

(郵便番号) - * 押下

住所1 (自動入力) ○ 東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
 ○ 東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
 ○ 東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

住所2 (番地以降)

- ① 郵便番号入力 [住所検索]を押下
- ② 表示された住所の一覧から住所を選択
- ③ どこまで表示されているか確認のうえで、続きの住所を全角で入力

※丁目など住所を重複して入力しないように注意してください。

④ 一奨学金給付額情報

(1) 給付が採用になった時に10月振込分からの支給の停止を希望しますか『いいえ』を選択

※以下の場合のみ「はい」を選択

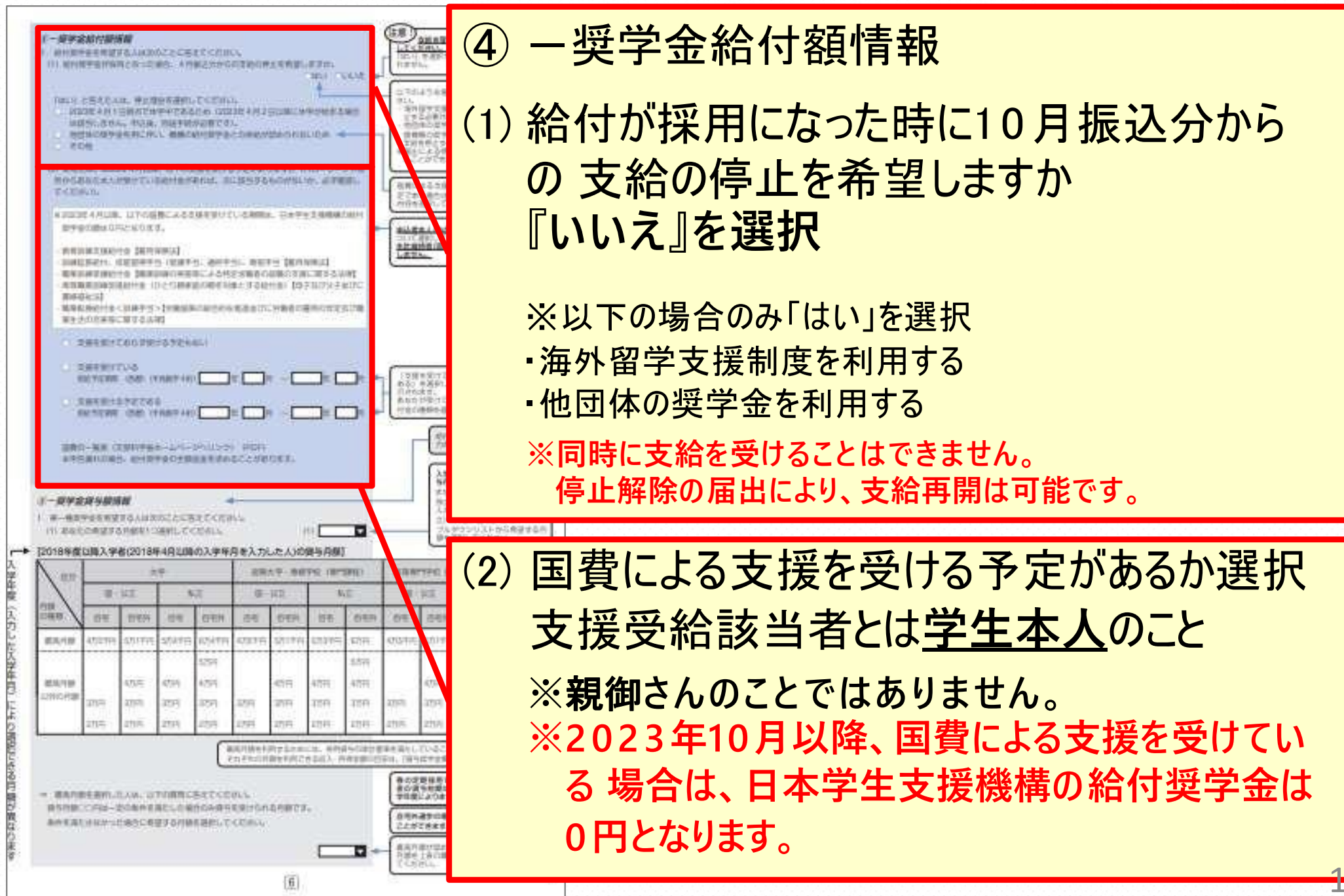
- ・海外留学支援制度を利用する
- ・他団体の奨学金を利用する

※同時に支給を受けることはできません。
停止解除の届出により、支給再開は可能です。

(2) 国費による支援を受ける予定があるか選択
支援受給該当者とは学生本人のこと

※親御さんのことではありません。

※2023年10月以降、国費による支援を受けている場合は、日本学生支援機構の給付奨学金は0円となります。



⑤ 一奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する方のみ

※下書き用紙P.3にて、貸与型奨学金の申込み番号において

×(1)(2)(5)(6)(7)(8)(11)(14)を選択した方

(1) 希望する月額を選択

⇒最高月額を選択した方は、最高月額が

⇒認められなかった場合の月額も選択

奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は300にチェックしてください。
 (1) 奨学金の希望する月額を1つ選択してください。

2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の奨与月額

内訳 口種別	大学		短期大学・専門学校(専門学校)				高等専門学校(4-2年制、専攻科)				
	選・択		選・択		選・択		選・択		選・択		
	西暦	西暦	西暦	西暦	西暦	西暦	西暦	西暦	西暦	西暦	
最高月額	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円
総額月額	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円	47,000円
口別の月額	27,000円	47,000円	27,000円	47,000円	27,000円	47,000円	27,000円	47,000円	27,000円	47,000円	27,000円
	27,000円	27,000円	27,000円	27,000円	27,000円	27,000円	27,000円	27,000円	27,000円	27,000円	27,000円

最高月額を1つ選択する際には、希望する月額を選択していることが必要です。
 それ以外の月額を1つ以上選択すると、1種奨学金の申込みができません。

※ 奨学金を希望しない人は、以下の欄を空白にしてください。
 希望する月額は一定の条件を満たした場合は申請書に提出される場合があります。
 条件を満たさなければ、希望する月額を選択していただく必要はありません。

STEP4
⑥-あなたの履歴情報

1. あなたの最終学籍を記入してください。
1. 西暦（半角数字4桁） 年 月 卒業または退学

2. あなたは国内の高等学校（本科）を卒業しましたか。
申請こたえ「はい」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、
高等専門学校（第1学年から第3学年まで）又は専修学校の高等課程（修業年限が3年
以上のもの）を含みます（インターナショナルスクールや在外教育施設等は含みません）。
※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。
「はい」と答えた人にお聞きします。
あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。
西暦（半角数字4桁） 年 月

「いいえ」と答えた人にお聞きします。
あなたが現在通っている学校への入学時の履歴は次のうちどちらになりますか。
○高等学校卒業程度認定試験合格者
○その他（インターナショナルスクール、在外教育施設等）
[高等学校卒業程度認定試験合格者]と答えた人にお聞きします。
あなたは高等学校卒業程度認定試験にいつ合格しましたか。
西暦（半角数字4桁） 年 月

あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度（16歳になる年度）
から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年間経過していますが、5
年を経過した後も毎年高等学校卒業程度認定試験を受験してまいりましたか。
○はい ○いいえ

「その他」と答えた人にお聞きします。
あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名（正式名称）とその学校を卒業又は修了
した年月を記入してください。
西暦（半角数字4桁） 年 月

3. 「給付」あなたはこれまでに、日本学生支援機構の「給付奨学金」（原則、返還不要）を受けて
いますか。（現在支給が終了しているものを含む）
○はい ○いいえ

「貸与」あなたはこれまでに、「第一奨学金申込情報」で入力した他に日本学生支援機構の「第三奨学金」
（第一種・第二種）（原則、要返還）を受けていますか（現在支給が終了しているものを含む）。
○はい ○いいえ

上のいずれかの設備で「はい」を選択した人はその奨学生番号を記入してください。
※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合、貸与額が削減されます。
※貸与を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押してすべての奨学生
番号を記入してください。
※奨学生番号の記入を振り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

半角数字	第 奨学生番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	削除	追加
例	奨学生番号	1	612	04	999999	0000	2531						
	奨学生番号	2	619	08	999999	0000	2530						
	奨学生番号	3	610	01	999999	0000	2531						
	奨学生番号	4	616	02	999999	0000	2531						
	奨学生番号	5											

※第二種奨学金の貸与について確認してください。
あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。
日本学生支援機構の規程により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や
振り消される期間が制限される場合があります。 確認しました

③ページの②-奨学金申込情報に入力した番号は入力しないでください。
・採用取消となった奨学生番号は入力しないでください。
・高校在学中に、都道府県等（日本学生支援機構及び日本育英会以外）から奨学金の貸与を
場合、入力の必要はありません（高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、平成17年入
日本学生支援機構から各都道府県に移管されました）。

「5年を経過した後も毎年高等学校卒業程度認定試験を受験していた」とは、下記のような場合が該当します。
例）16歳になる年度：2013年度
16歳になる年度から5年経過⇒2019年4月1日以降
-2018年度、2019年度に高等学校卒業程度認定試験受験（合格）
-2020年度に高等学校卒業程度認定試験受験（合格）
※上記の例では、2018年度又は2019年度に受験していない場合、「5年を経過した後も毎年高等学校卒業程度認定試験を
受験していた」に該当しないため、申し込むことができません。

⑥-あなたの履歴情報

1. 最終学籍は直近に卒業または退学した年月および学校を選択

2. 卒業した高校の国や
高等学校卒業程度認定試験について
記入

3. これまでに日本学生支援機構
の 給付奨学金や貸与奨学金を
受けたことがあるかを記入

受けていた(今はすでに貸与終了している
奨学金がある)方は「はい」を選択し、
その奨学生番号を記入

※現在も継続して受けている奨学生番号は、
下書き用紙P.3で記入済みのため不要です。

給付奨学金のみを希望する人は⑦一保証制度の入力は必要ありません。

STEPS
⑦一保証制度
1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

機関保証
※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。
 制度の内容について承認し、機関保証を選択します。

人的保証
※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。
 制度の内容について承認し、人的保証を選択します。

併用又は併用で申し込み(⑦一奨学金申込書欄で次の選択肢を選択した場合)。
(2) 第1希望: 第一種奨学金 第2希望: 第二種奨学金
(4) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用)
(5) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第一種奨学金
(6) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第一種奨学金 第3希望: 第二種奨学金
(7) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第二種奨学金
かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合

1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

機関保証
※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。
 制度の内容について承認し、機関保証を選択します。

人的保証
※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。
 制度の内容について承認し、人的保証を選択します。

⑦一保証制度

1. 人的保証または機関保証を選択

第一種奨学金を『所得連動返還方式』で希望された方は、第一種奨学金の保証制度は自動的に【機関保証】になります

第二種奨学金を併用で申し込む場合は第二種のみ人的保証を選択できます

*貸与奨学金案内P.22～26参照

返還が終了するまで、機関保証から人的保証への変更はできません

STEPS
⑧一貸与奨学金返還契約書情報・給付奨学金本人等情報
1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたの氏名は△△△△△△さんですね。 (2) 性別は△△さんですか。 (3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。 (4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

住所1(自動入力) 住所2(番地以降)(全角文字)

(5) あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

携帯電話の電話番号を記入してください。(ハイフンなし/半角数字)

住所の入力例

(郵便番号) 162-1-9999 住所検索 ←押下

注意!
表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1(自動入力) 東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
 東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
 東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

住所2(番地以降) 99-9 機関ハイツ 505

注意!
※番地以降を全て全角で入力してください。半角文字やハイフン、スペースを含む。入ると次の画面に進めません。
※番地以降のない住所は、住所2欄に全角で「〒」を入力してください。
※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力してください。
上記の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄で「1丁目 99-9-…」と入力すると、表示内容は「1丁目1丁目 99-9-…」となります。
※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡のとれる国内の住所等を入力してください。

①-保証制度で「機関保証」を選択した人

2. 本人以外の連絡先について

(1) その氏名

(1) 漢字 (全角5文字以内)

カナ (全角15文字以内)

(2) その生年月日 (2) 年 月 日生

(3) あなたの関係 (3)

(4) その住所 (4) 郵便番号 (半角数字) -

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(5) その電話番号

*自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(ハイフンなし半角数字) --

その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし半角数字) --

①-保証制度で「人的保証」を選択した人

2. 連帯保証人と保証人について

(1) 連帯保証人について入力してください。

- 原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。

- 未成年者等保証能力がない人は認められません。

- 債務整理 (破産等) 中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字 (全角5文字以内)

カナ (全角15文字以内)

(b) その生年月日 (b) 年 月 日生

(c) あなたの関係 (c)

未成年後見人の場合は、その続柄

(d) その住所

- 連帯保証人の印鑑登録証明書 (市区町村発行) に記載されている住所を入力してください。

*印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) 郵便番号 (半角数字) -

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(e) その電話番号

*自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(ハイフンなし半角数字) --

その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし半角数字) --

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (ハイフンなし半角数字) --

*連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

【機関保証】を選択した方の画面

2. 本人以外の連絡先について
連絡先に選任した方の
氏名、生年月日、住所等を記入

※住所・生年月日は、正しく記入すること
※誤っていた場合、採用後、修正に非常に
手間がかかるため注意すること

この保証制度で「人的保証」を選択した人

2. 連帯保証人と保証人について

あなたはこの保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

- 原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。
- 未成年者等保証能力がない人は認められません。
- 親類整理（給付等）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字（全角5文字以内）

カナ（全角15文字以内）

(b) その生年月日 (b) 年 月 日生

(c) あなたの所属 (c)

未成年後見人の場合は、その続柄

(d) その住所

連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) 郵便番号（半角数字） -

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

（ハイフンなし・半角数字） --

その携帯電話の電話番号（ハイフンなし・半角数字） --

(f) その勤務先 (f)（全角文字）

勤務先電話番号（ハイフンなし・半角数字） --

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

【人的保証】を選択した方の画面

2. 連帯保証人と保証人について

(1) 連帯保証人に選任する方（原則、父母）の氏名、住所等を記入

- ※住所・生年月日は、連帯保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を記入すること
- 旧字体・異体字が含まれる場合は、常用字体・通用字体にて入力してください。

例) 高木 → 高木 で入力する

- ※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

- ※情報が誤っていた場合、採用後、修正に非常に手間がかかるため注意すること

【人的保証】を選択した方の画面

(2)保証人に選任する方(原則、叔父・おば等の4 親等以内の親族)の氏名、住所等を記入

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を記入すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※情報が誤っていた場合、採用後、修正に非常に手間がかかるため注意すること

⑦-保証制度で「人的保証」を選択した人(続き)

(2) 保証人について入力してください。

-原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別計計の35歳未満の人を選んください。

-未成年者等保証能力がない人は認められません。

-債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字(全角5文字以内) 姓 名

カナ(全角15文字以内)

(b) その生年月日 (b) 年 月 日生

(c) あなたの続柄 (c)

(d) その住所

-保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) 郵便番号(半角数字) 住所検索

住所1(自動入力)

住所2(番地以降)(全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(ハイフンなし・半角数字)

その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし・半角数字)

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (ハイフンなし・半角数字)

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

(g) 連帯保証人と保証人は別計計ですか。 (g) はい いいえ

※連帯保証人。保証人に相応しい人物かどうか、入力情報をもとに判定を行います。年齢による判定では、各人物の生年月日(「あなたの氏名・契約情報」で入力した生年月日)時点での年齢をもとに判定を行います。

連帯保証人・保証人について

⑦-保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ(合計2人)入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。

保証人には、「分別の利益」が適用されます。また、「検索の拒否権」及び「催告の拒否権」があります(人には適用されません)。

詳しくは、「貸与奨学金案内」を参照してください。

また、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、⑧-⑩ページの(1)、(2)を記入してください。

もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらかじめ条件に合致する別の人を選任しなおしてください。条件に合致する人を選任できない場合は、⑦-保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならない書類(返還誓約書)には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印(実印)し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。

STEP7

⑧-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 はい いいえ

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

●児童養護施設入所者等 ●児童自立支援施設入所者等

●児童心身障害施設入所者等 ●自立援助ホーム入所者等

●施設に養育されている(18歳)の人 ●ファミリーホームで養育されている(18歳)の人

2. あなたの家族の人数

(1) 家族全員(あなたを含む)の人数を選択してください。 (1) 人

18歳未満であってはい、「はい」を選択する人は、施設に入所していた、又は養育による養育を受けていたことがわかる白付が記載された証明書類の提出が必要です。

(証明書類の例)

施設等在籍証明書(施設長発行)、児童(児童)委託証明書(児童相談所発行)、措置解除決定通知書(児童相談所発行)等

※機構の所定様式(施設等在籍・退所証明書)でも可。

申込者と生計が同一(同居)で生活している(あるいは同居)の全員の人数です(別居別世帯を指しません)。収入が別の別世帯の兄弟姉妹や祖父母は含まれません。また、「⑧-あなたの家族情報」の1.で「はい」を選択した場合は自動的に1名と表示されます。

例年、印鑑登録証明書の取得に時間がかかったり(採用後に提出していただきます)、保証人の要件外であったため採用を取り消され、奨学金の返還を求められるケースが少なからず存在しています。奨学金案内を熟読し、必要な書類や選任要件を確認し、保証人になることについて承認を得るようにしてください。

⑦-保証制度で「人的保証」を選択した人（続き）

↓

(2) 保証人について入力してください。

- 原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別計計の35歳未満の人を選んでください。

- 未成年者等保証能力がない人は認められません。

- 債務整理（破産等）中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字（全角5文字以内） 姓 名

カナ（全角15文字以内）

(b) その生年月日 (b) 年 月 日生

(c) あなたの続柄 (c)

(d) その住所

- 保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) 郵便番号（半角数字） - 住所検索

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(ハイフンなし・半角数字) --

その他の電話番号（ハイフンなし・半角数字） --

(f) その勤務先 (f)（全角文字）

勤務先電話番号（ハイフンなし・半角数字） --

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

(g) 連帯保証人と保証人は別計計ですか。 (g) はい いいえ

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の生年月日（「①-あなたの氏名・家族情報」で入力した生年月日）時点での年齢を元に判定を行います。

⑧-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 はい いいえ

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

児童養護施設入所者等 児童自立支援施設入所者等

児童心理支援施設入所者等 自立支援センター入所者等

施設に養育されている（いた）人 ファミリーホームで養育されている（いた）人

2. あなたの家族の人数

(1) 家族全員（あなたを含む）の人数を選択してください。 (1) 人

18歳未満の子供は、必ず「はい」を選択するか、施設に入所していた、又は養育に必要であったことがわかる白付が記載された書類の提出が必要です。（参考例）

児童養護施設（施設受入れ）、児童（生活保護受給者）等在籍証明書（施設受入れ）、児童（生活保護受給者）等在籍証明書（児童相談所発行）、児童相談所通知書（児童相談所発行）等

※申請書の所定欄に「施設等在籍・過所証明書」を記載してください。

申込者と生計が同一（同じ収入で生活して）である全員の人数です（別居別世帯を指しません）。収入が異なる別世帯の兄弟姉妹や祖父母は含みません。また、「①-あなたの家族情報」の1.で「はい」を選択した場合は自動的に1名と表示されます。

⑨-あなたの家族情報

1. 社会的養護を必要とする人か回答
「はい」または「いいえ」

「はい」を選択する人は施設に入所していた等のことが分かる証明書の提出が必要です。

2. あなたを含む家族人数を記入
※社会人として働きに出ている兄弟・姉妹や、生計維持者の扶養に入っていない祖父母は含みません。

3. 生計維持者（原則父母、父母がいなくても生計を維持する人）について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です。（離婚等により完全に生計の人を除く。）

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 (1) 人

(2) 生計維持者①（父の姓/母の姓、父姓/母姓の場合は別々に）について生計を維持する人

(a) あなたの姓 (a)

(b) 生計維持者の氏名 (b) 漢字（全角5文字以内） 姓 名
カナ（全角15文字以内）

(c) 生計維持者の住所 (c) 郵便番号（半角数字） 住所成金
住所 1（自動入力）
住所 2（居住地）（全角文字）

(d) 生計維持者の生年月日 (d) 年 月 日生

(e) 生計維持者のマイナンバーを機械に提出する準備はできていますか。
 (注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
 (注2) 審計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。
 提出できない場合は、別途毎年所得証明書類等の証明書類の提出が必要となります。

準備できている
 これから準備する
 その他

(f) 所得（中点時点の状況）について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。
 ※金額は万円単位で入力してください。（例：1,000,000円⇒100万円）

1. 給与所得
 2. 商店・農業工業、個人経営
 3. 失業手当
 4. 生活保護費
 ※生活保護費はマイナンバーより情報収集しますので金額の入力は不要です。該当する場合はのみを入力してください。

5. 傷病手当金 年額 万円
 6. 年金 年額 万円
 7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当 年額 万円
 8. 祖父母等からの援助や養育費等 年額 万円
 9. その他 年額 万円
 10. 2021年1月1日以前から無職

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

11. 給与所得 または「2. 商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、おてはまるものを選択してください。

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・再業しましたか。
 2021年1月1日以前から同じ勤務先（同じ事業形態で事業経営）
 ※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・再業
 就職・転職・退職・開業・再業後の年収（見込み）はいくらですか。
 （給与明細、税調、年収見込証明書、就職票等の学校への提出が必要です。）

・給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円
 ・給与所得以外（商店・農業工業、個人経営） 所得金額合計 年額 万円

※中点時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・再業している場合はこちらに年額（見込み）を入力してください。

※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円と入力してください。

※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合こちらに年額（見込み）を入力してください。（マイナンバー提出不可に併用する所定の手続きが必要です。）
 ※2021年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額（見込み）を入力してください。

3. 生計維持者について
 (1) 生計維持者の人数
 生計維持者は原則、父母
 (無職無収入の場合でも生計維持者となります)
 *貸与奨学金案内P.12、13
 給付奨学金案内P.12参照

3. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です。（離婚等により完全に生計の人を除く。）

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。

(2) 生計維持者①（父母がいないか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）

(a) あなたの続柄 (a) 人

(b) 生計維持者の氏名

(b) 漢字（全角5文字以内）

姓 名

カナ（全角15文字以内）

(c) 生計維持者の住所 (c) 郵便番号（半角数字） 住所成語

住所 1（自動入力）

住所 2（居住地以降）（全角文字）

(d) 生計維持者の生年月日 (d) 年 月 日生

(e) 生計維持者のマイナンバーを機械に提出する準備はできていますか。

(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。

(注2) 審計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。提出できない場合は、別途毎年所得証明等の証明書類の提出が必要となります。

準備できている

これから準備する

その他

(f) 所得（中点時点の状況）について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。

1. 給与所得

2. 商店・農業工業、個人経営

3. 失業手当

4. 生活保護費

年額 万円

※生活保護費はマイナンバーより情報収集しますので金額の入力は不要です。該当する場合はのみを入力してください。

5. 傷病手当金

年額 万円

6. 年金

年額 万円

7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当

年額 万円

8. 祖父母等からの援助や養育費等

年額 万円

9. その他

年額 万円

10. 2021年1月1日以前から無職

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

11. 給与所得 または 「2. 商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、おてはまるものを選択してください。

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・再業しましたか。

2021年1月1日以前から同じ勤務先（同じ事業形態で事業経営）

※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・再業

就職・転職・退職・開業・再業後の年収（見込み）はいくらですか。

（給与明細、税調、年収見込証明書、離職票等の学校への提出が必要です。）

給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円

給与所得以外（商店・農業工業、個人経営） 所得金額合計 年額 万円

※中点時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・再業している場合はこちらに年額（見込み）を入力してください。

※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円を入力してください。

※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合こちらに年額（見込み）を入力してください。（マイナンバー提出不可に係る所定の手続きが必要です。）

※2021年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額（見込み）を入力してください。

(2) 生計維持者①

生計維持者1人目の続柄・氏名・カナ氏名・住所・生年月日・マイナンバーの提出についてを記入

- ※マイナンバーの提出書類については、
- ✖『マイナンバー提出書セット』の中に入っている書類をよく読むこと
- ※生計維持者が、海外勤務をしている場合は、マイナンバーが発行
- ✖されていない場合があります。
- 該当者は各キャンパスの奨学金担当へご相談ください。

3. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無にかかわらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です（配偶等により完全に生計の人を除く）。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。

(2) 生計維持者①（父母がいなければ、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）

(a) あなたの続柄

(b) 生計維持者の氏名

(c) 生計維持者の住所

(d) 生計維持者の生年月日

(e) 生計維持者のマイナンバーを機械に提出する準備はできていますか。

(f) 所得（申込時点の状況）について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。

※金額は万円単位で入力してください。（例：1,000,000円⇒100万円）

1. 給与所得

2. 商店・農業工業・個人経営

3. 失業手当

4. 生活保護費

5. 傷病手当金

6. 年金

7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当

8. 祖父母等からの援助や養育費等

9. その他

10. 2021年1月1日以前から無職

※生活保護費はマイナンバーより情報収集しますので金額の入力は不要です。該当する場合はのみを入力してください。

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・再業しましたか。

○2021年1月1日以前から同じ勤務先（同じ事業形態で事業経営）

○2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・再業

就職・転職・退職・開業・再業後の年収（見込み）はいくらですか。

給与明細、税調、年収見込証明書、離職票等の学校への提出が必要です。

給与所得者

給与所得以外（商店・農業工業・個人経営） 所得合計

※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・再業している場合はこちらに年額（見込み）を入力してください。

※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円と入力してください。

※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合こちらに年額（見込み）を入力してください（マイナンバー「提出不可」に併用する所定の手続きが必要です）。

※2021年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額（見込み）を入力してください。

(f) 生計維持者1人目の申込時点の所得

※1. 給付所得、2. 商店・農業工業・個人経営に該当する方はマイナンバーにより収入情報を取得するため、金額の記入は不要です。

2022年1月2日以降に転職・退職や開業をしている場合、マイナンバーにより情報を取得できません。

該当する方は、奨学金案内にて収入状況の確認と計算方法、必要書類について確認した上で、記入すること

*** 貸与奨学金案内P.32～38参照**

(g) 生計維持者は2022年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。
 はい いいえ

(h) 生計維持者は2022年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。
 はい いいえ

(a) あなたの続柄 (a)

(b) 生計維持者の氏名 (b) 姓 名
 (b) 漢字 (全角5文字以内)
 カナ (全角15文字以内)

(c) 生計維持者の住所 (c) 郵便番号 (半角数字) - 住所検索
 住所 1 (自動入力)
 住所 2 (郵便以降) (全角文字)

(d) 生計維持者の生年月日 (d) 年 月 日生

(e) 生計維持者のマイナンバーを特異に提出する準備はできていますか。
 (注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
 (注2) 審査のため、マイナンバーの提出が必要です。
 提出できない場合は、別途毎年所得証明等の証明書類の提出が必要となります。
 準備できている
 これから準備する
 その他

(f) 所得 (おおよその目安) に応じて、該当するものを複数選択してください。
 ※金額は万円単位で入力してください。(例: 1,000,000円⇒100万円)

1. 給与所得
 2. 商店・農業工業、個人経営
 3. 失業手当
 4. 生活保護費
 ※生活保護費はマイナンバーより情報取集ししますので金額の入力は不要です。該当する場合はおのれのみを入力してください。

5. 養育手当金
 6. 年金
 7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当
 8. 祖父等からの援助や養育費等
 9. その他
 10. 2021年1月1日以前から無職

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

「1. 給与所得」または「2. 商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、あてはまるものを選択してください。

2021年1月2日以後に就職・転職・退職・開業・再業しましたか。
 2021年1月1日以前から同じ勤務先(同じ業務形態で事業経営)
 ※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。
 2021年1月2日以後に就職・転職・退職・開業・再業
 就職・転職・退職・開業・再業後の年収(見込み)はいくらですか。
 (給与明細、帳簿、年収見込証明書、業務開始等の学校への提出が必要です。)

給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円
 給与所得以外(商店・農業工業、個人経営) 所得金額合計 年額 万円

※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1月2日以後に就職・転職・退職・開業・再業している場合はこちらに年額(見込み)を入力してください。

※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円と入力してください。

※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらに年額(見込み)を入力してください(マイナンバー提出不可に集る所定の手続きが必要です)。
 ※2021年に海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額(見込み)を入力してください。

(g) 生計維持者は2022年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。
 はい いいえ

(h) 生計維持者は2022年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。
 はい いいえ

生計維持者①の方について
 生活保護受給状況と国内居住について
 を回答

(3) 生計維持者②
 生計維持者2人目の
 続柄・氏名・カナ氏名・住所・生年月日・
 マイナンバーの提出について を回答

※無収入であっても父母ともにいる場合は、
 生計維持者②の記入が必要
 生計維持者が1人の場合は記入不要

(f) 生計維持者2人目の申込時点の所得
 ※1. 給付所得、2. 商店・農業工業・個人経営に該当する方は
 ✖ マイナンバーにより収入情報を取得するため、金額の記入は
 ✖ 不要です。

2022年1月2日以降に転職・退職、開業をしている場合、
 マイナンバーにより情報を取得できません。
 該当する方は、奨学金案内にて収入状況の確認と
 計算方法、必要書類について確認した上で、記入すること
 * 貸与奨学金案内P.32～38参照

**生計維持者①の方について
 生活保護受給状況と国内居住について
 を回答**

4. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の合計額が2,000万円未満（生計維持者が1人の場合は1,250万円未満）ですか。

※対象となる資産の範囲：現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計額（不動産は対象外としません）。

5. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の額をそれぞれ入力してください。（1万円未満切り捨て）

（半角数字）

あなた 万円

生計維持者① 万円

生計維持者② 万円

◆一人親家庭

6. 父又は母のいずれかのみを生計維持者として理由について、次のうち該当するものを選択してください。

父又は母と死別した。

父母の離婚等により、父又は母のいずれかのみが（本人）は別生計である。

※「離婚等」には、離婚調停中、DVによる別居中、又は未婚の場合なども含まれます。

父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。

その他

◆父母以外

7. 生計維持者に父母以外の人を入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。（複数選択可）

両親（父母）と死別した。

両親（父母）が生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。

わたし（本人）は結婚しており、両親ではなく、生計維持者欄に記載した配偶者に扶養されている（納付手続者において、わたしの夫（妻）の扶養に入っている）。

その他

◆共通◆一人親家庭・父母以外

必要に応じて、上記の事実関係が確認できる証明書類の提出を後日求める場合があります。上記の申告に間違いありませんか。

はい

いいえ

事由	証明書類(例)
父又は母のいずれかのみを生計維持者として理由【共通】	・戸籍原簿（婚姻（夫）記録の適用が分かるもの） ・児童扶養手当受給書、受給証明書等
上記の事項を認認できない場合	
父母と死別	・戸籍簿本、抄本 ・住民票（死亡日記載あり）
父母が離婚	・戸籍簿本、抄本
父母が離婚調停中	・裁判所による係属証明書 ・弁護士による報告書
父又は母がDV被害	・自治体等による「配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書」
父又は母が生死不明（行方不明）	・自治体や警察等による「行方不明者届受理証明書」
父又は母が意識不明、精神疾患	・主治医による「診断書」
学生本人が両親ではなく配偶者に扶養されている	・戸籍簿本、抄本 及び ・婚姻証明書（配偶者控除の適用が分かるもの）
その他の事由	・事実関係を確認できる書類（第三者「機関」の発行書）

8. 生計維持者はあなた自身（独立生計者）と入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。

両親（父母）と死別し、祖父母や叔父・叔母等の親族から経済的支援を受けていない。

父母・祖父母ともに死別し、兄弟姉妹は就学中もしくは病弱などの理由で働くことができない。

わたし（本人）は結婚しており、配偶者等を扶養している。

その他

申告いただいた内容について、後日確認させていただく場合があります。上記の申告に間違いありませんか。

はい

いいえ

4.と5.
あなたと生計維持者の資産額について記入
※資産とは現金・預貯金・有価証券の合計額
×（不動産は対象外）

◆一人親家庭 ◆父母以外
P.12.13にて父または母のいずれかのみを生計維持者としている場合には、その理由について回答
必要に応じて、事実関係が確認できる証明書類の提出を後日求めることがあります。

◆申込者本人
P.12.13で学生本人を生計維持者としている場合に、その理由について回答
あなた自身を生計維持者にした理由として、父母と不仲であることは認められません。また、あなたの収入及び奨学金等だけで生活しているという状況であったとしても、父母がいる場合は、原則父母が生計維持者となります。

貸与のみの方はP.14

9. 家族のうち学校に在学している人に関して記入してください。

(1) 家族のうち就学者（あなたを含む）と就学者前の家族の人数を合せて記入してください。

(2) あなたの他に学校に在学している人及び小学校入学前の弟妹がいる場合は、全員記入してください。

STEPB 前記情報

1. あなたの支払っている年間の授業料を記入してください。

2. あなたの家庭は母子または父子家庭ですか。

3. 家族の中に障害のある人（特に補填を要する介護の必要な人等を含む）がいますか。

4. 主に生計を維持する人が専ら赴任等で別居していますか。

5. あなたの滞学に8か月以上にわたり療養中の人または療養を必要とする人がいますか。

6. この1年間に火災・風水害又は盗難などの被害を受けたことがありますか。

7. 災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。

家族のうち学校に在学している人に関して

(1) 就学者と就学者前の家族の人数

P.12にて回答した『家族人数』の内、就学者または、小学校入学前の弟妹の人数を記入(自分を含む)

- * 就学者: 小・中・高等学校・高等専門学校
- * 就学者: 専修学校・大学院に通っている者
- (聴講生・予備校生等は含まれません)

(2) あなたの他に学校に在学している人および小学校入学前の弟妹について

(1)にて回答した就学者の内、自分以外について全員記入

貸与のみの方はP.14

9. 家族のうち学校に在学している人に関して記入してください。

(1) 家族のうち就学者（あなたを含む）と就学前の家族の人数を合せて記入してください。

(2) あなたの他に学校に在学している人及び小学校入学前の家族がいる場合は、全員記入してください。

10. その他の家族（「生計維持者・就学者・小学校入学前の家族」以外の家族）を記入してください。

STEPB
前—特記情報

1. あなたの支払っている年間の授業料を記入してください。

2. あなたの家庭は母子または父子家庭ですか。

3. 家族の中に障害のある人（特に扶養を要する介護の必要な人等を含む）がいますか。

4. 主に生計を維持する人が専任赴任等で別居していますか。

5. あなたの家族に8か月以上にわたり療養中の入または療養を必要とする人がいますか。

6. この1年間に火災・風水害又は盗難などの被害を受けたことがありますか。

7. 災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択表の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。

後—家庭事情情報

貸与金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください。
（全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください。）

注1 主に生計を維持する人が無職（失職）の場合には、その無職（失職）となった年月、理由、現在の生活費の出所等を具体的に記入してください。

注2 第二種奨学金の最高月額を必要とする理由を具体的に記入してください（学校担当者から確認を行う場合があります）。

(3) その他の家族の記入
 P.12にて回答した『家族人数』の内、
 (1)の人数にも生計維持者にも該当しない家族について記入
**※父母や社会人として働きに出ている兄弟・姉妹、
 生計維持者の扶養に入っていない祖父母を記入しないように
 注意してください。**

貸与のみの方はP.14

⑩一特記情報

1. 年間の授業料

以下枠外学費一覧の所属学部を見て記入

※**実際支払っている金額とは異なります。**

※**免除を受けている方も記載の数字を記入してください。**

2. ~ 6. 特別控除を受ける場合、申告が必要です。

控除額は万円未満を切り上げて記入

※**控除を受ける内容によって提出書類が異なります。**

***貸与奨学金案内P.39参照**

学部	授業料
法・文・経済・社会・経営・人間環境・現代福祉・キャリアデザイン	84 万円
国際文化	107 万円 (2年生 54 万円)
グローバル教養	110 万円
スポーツ健康	94 万円
情報科・理工・生命科・デザイン工	118 万円

9. 家族のうち学校に在学している人に関して記入してください。

(1) 家族のうち就学者(あなたを含む)と就学者の家族の人数を合わせて記入してください。

(2) あなたの他に学校に在学している人及び小学校入学前の弟妹がいる場合は、全員記入してください。

10. その他の家族(「生計維持者・就学者・小学校入学前の弟妹」以外の家族)を記入してください。(あなたを除く)

前-特記情報

1. あなたの支払っている年間の授業料を記入してください。

2. あなたの家庭は母子または父子家庭ですか。

3. 家族の中に障害のある人(常に補佐を要する介護の必要な人等を含む)がいますか。

4. 主に生計を維持する人が専任者等で別居していますか。

5. あなたの家族に8か月以上にわたり療養中の入または療養を必要とする人がいますか。

6. この1年間に火災・風水害又は盗難などの被害を受けたことがありますか。

7. 災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。

特-家庭事情情報

奨学金を希望するに至った家庭事情や、特記事項を要することを記入してください。(全角200文字以内。下の記入欄をご利用ください。)

注1) 主に生計を維持する人が専任(失職)の場合には、その専任(失職)となった5年分、理由、現在の生活費の出所等を具体的に記入してください。

注2) 第二種奨学金の最高月額を必要とする理由を具体的に記入してください(学校担当者から確認を行う場合があります)。

貸与のみの方はP.14

L-家庭事情情報

奨学金を希望するに至った家庭事情や特に説明を要することを記入

内容は日本学生支援機構の選考材料になります。
具体的な内容で7割以上記入してください。

※ローンの返済等は、奨学金を必要とする理由には
ならないので注意してください。

※生計維持者全員が無職の場合には、
無職となった年月、理由、現在の生活費の出所を
具体的に記入してください。

9. 家族のうち学校に在学している人に限って記入してください。

(1) 家族のうち就学者（あなたを含む）と就学前の家族の人数を合せて記入してください。

(2) あなたの他に学校に在学している人及び小学校入学前の家族がいる場合は、全員記入してください。

10. その他の家族（「生計維持者・就学者・小学校入学前の家族」以外の家族）を記入してください。（あなたを除く）

STEP8
前-特記情報

1. あなたの支払っている年間の授業料を記入してください。

2. あなたの家庭は母子または父子家庭ですか。

3. 家族の中に障害のある人（特に説明を要する介護の必要な人等を含む）がいますか。

4. 主に生計を維持する人が単身赴任等で別居していますか。

5. あなたの家族に8か月以上にわたり療養中の入または療養を必要とする人がいますか。

6. この1年間に火災・風水害又は自然などの被害を受けたことがありますか。

7. 災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が被災地の指定されている場合は該当のものを選択してください。

11. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください（全角20文字以内。下の記入欄をご利用ください）。

注1) 主に生計を維持する人が無職（失職）の場合には、その無職（失職）となった年月、理由、現在の生活費の出所等を具体的に記入してください。

注2) 第二種奨学金の最高月額を必要とする理由を具体的に記入してください（学校担当者から確認等を行う場合があります）。

スカラネット入力時の注意

給付

貸与

申込みページまでのアクセス方法などは、奨学金案内の、以下ページを読んで確認してください。

* 貸与奨学金案内 P.40～43

* 給付奨学金案内 P.19～22



下書き用紙P.1のURLまたはQRコードよりアクセスする

※スマートフォンからも申込みができますが、文章の入力や、全角半角の間違いなどが起きやすいためPCからの申込みを推奨しています。

※下書き用紙に表示している内容は2023年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります。

2023年度 スカラネット入力下書き用紙 【給付奨学金（貸与同時申込み）用】

独立行政法人
日本学生支援機構
JASID (Japan Student Services Organization)

給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込み頂く際の「スカラネット入力下書き用紙」です。この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類によって回答の必要な設問が異なります。給付奨学金のみを申し込みの方は、青色背景の設問のみに答えてください。給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込みの方は、青色背景と白色背景の両方の設問に答えてください。

スカラネットURL: <https://www.sas.jasso.go.jp>
受付時間: 8:00～25:00 (最終締切日は8:00～24:00)
※締め時間直前になると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。
入力済履歴の保存期間は30日～1ヶ月です。

氏名	学籍番号	部・学科・分野
入学年度		
学年		

【スカラネット入力の前に、手元に用意する書類】

- 学校から受け取った学籍番号（ユーザIDとパスワード）
- マイナンバー提出書
- 学籍番号提出書（本人名義）の捺印などのコピー（本用紙P.10ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入力内容記入欄】

履歴書入力

奨学金の種類（学校）・申込の選択

- 大学の給付の表示例
- 高専専門学校の給付の表示例
- 大学（課程別）の給付の表示例

スカラネット入力時の注意

給付

貸与

奨学金申込みのためにスカラネットに初めてログインされる方は「〇奨学金の新規申込・進学届の提出」を、初回ログインが完了されている方は「〇ログイン（アカウント情報登録済の人）」をクリックしてください。

◎ 奨学金の新規申込・進学届の提出

◆ 申込内容の選択

申込種別を選択してください

- 予約採用の申込 → 進学前に申し込む（進学先で奨学金を希望する）場合
- 在学採用の申込 → 進学後に申し込む（在学している学校で奨学金を希望する）場合
- 進学届の提出 → 予約採用の採用候補者に決定済で進学した場合

在学中の学校を選択してください

- 大学等 → 大学等（大学・短大・高専・専修専門）に在学している場合
- 大学院 → 大学院に在学している場合
- 法科大学院 → 法科大学院に在学している場合
- 短期留学 → 国内の学校に在学中に短期留学をする場合

申込画面へ

ログイン（アカウント情報登録済の人）

返還免除内定制度の申込

必ず【在学採用の申込みへ】をクリック
※誤ったところから入ってしまうと、奨学金の申込みが
できず、無効となってしまうので注意してください。

スカラネット入力時の注意

給付

貸与

奨学金申込みのためにスカラネットに初めてログインされる方は「○奨学金の新規申込・進学届の提出」を、初回ログインが完了されている方は「○ログイン（アカウント情報登録済の人）」をクリックしてください。

◎ 奨学金の新規申込・進学届の提出

◆ 申込内容の選択

申込種別を選択してください

予約採用の申込 -- 進学前に申し込む（進学先で奨学金を希望する）場合

◎ 在学採用の申込 -- 進学後に申し込む（在学している学校で奨学金を希望する）場合

進学届の提出 -- 予約採用の採用候補者に決定済で進学した場合

在学中の学校を選択してください

◎ 大学等 -- 大学等（大学・短大・高専・専修専門）に在学している場合

大学院 -- 大学院に在学している場合

法科大学院 -- 法科大学院に在学している場合

短期留学 -- 国内の学校に在学中に短期留学をする場合

申込画面へ

ログイン（アカウント情報登録済の人）

返還免除内定制度の申込

必ず
【在学採用の申込】をクリックし
【定期採用】を選択してください。
正しく申し込みができません。

学種・申込選択

○ 奨学金学種（学校）・申込の選択

1. あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。
大学

2. 申し込む奨学金を選択してください。

(1) 定期採用（1次又は2次）

現在在学している大学での奨学金を申し込むことができます。

(2) 専攻変更採用（給付奨学金のみ）

主計維持者に特定の事由が生じたことで専攻変更し、急変後の収入状況が生活費情報に反映される前に変更を要する場合のみ申し込むことができます。
学校で申込資格を確認してください。

(3) 緊急採用・応急採用（貸与奨学金のみ）

過去1年以内に主計を維持している人が欠陥、破産、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により専攻変更が生じた人のみ申し込むことができます。
学校で申込資格を確認してください。

次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

次へ

スカラネット入力後の注意

給付

貸与

口座情報を入力した後は確認画面が表示されます。

(イメージ画像)

入力完了後、「奨学金申込情報一覧」が表示されます。

入力に間違いがないか再度確認してください。

■ 特に確認する項目

氏名・住所・電話番号

学籍番号(7桁)

生計維持者(父母)の氏名・住所・電話番号・生年月日

奨学金振込口座

間違いなければ送信をクリック

あなたの記入した学籍番号は123456です。

奨学金申込情報一覧

あなたの入力した内容は以下の通りです。

- 記入内容に間違いがない場合は下の「送信」ボタンを押してください。「送信」ボタンを押すと受付番号を確認してください。
- 記入内容を訂正する場合は記入内容を訂正するボタンを押してください。

確認結果一覧表の抽出 既定等完了済み、提出しました。

「マイナンバー通知」に印字されている申込ID 000120

※一般的情報	
あなたの氏名(漢字)	梅田太郎
あなたの氏名(カナ)	キコウタロウ
契約日	令和3年
生年月日	平成13年7月7日
国籍	日本国籍以外
在留資格	定住者
在留期間(満了日)	2021年3月31日
未住居費	あり

※一般的情報の内容を訂正する

※重要事項確認(必須)

奨学金の申込みにあたって、以下の事項を全て確認し、理解している場合は「はい」、理解していない場合は「いいえ」を選んでください。

全ての事項を確認した後、下の「送信」ボタンを押してください。

奨学金における確認事項	はい (理解している)	いいえ (理解していない)
1. 在学中の返還成績や滞学が基準を満たさない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 奨学金の返還を延滞すると、延滞金が課税されます。延滞が高くなると法的措置が行われることがあります。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

送信

スカラネット入力後の注意

給付

貸与



送信後、「受付番号」が表示されます。

携帯で写真を取るなどして、画面を保し、
番号をスカラネット下書き用紙のP.1に記入してください。

※一度画面を閉じてしまうと、受付番号は再表示されません。
奨学金窓口でも調べることはできないので注意してください。

給付奨学金の家計基準について

進学資金シミュレーター

所得要件の基準にみたすかどうか日本学生支援機構のホームページにて確認できます。
※試算によるものであるため実際に申し込んだ場合の結果とは必ずしも一致しません。



申し込む上での注意点

家計基準について

- ・住宅ローン等の負債については、資産として取扱いません。よって、ローン残額を資産から差し引くことはできません。
- ・預金通帳や資産額に関しては、証明書類は必要ありません。ただし、給付奨学生として採用後、万一虚偽の申告が判明した場合は、支給した額を最大4割増で返金いただくことがあります。
- ・両親がいるにも関わらず、ひとり親世帯であると偽って申請・2000万円以上の資産があるにも関わらず、資産がない者と申請等これらの不正がある場合も、支給した額を最大4割増で返金いただくことがあります。

支援区分について

- ・第Ⅰ区分～第Ⅲ区分や支給額は、毎年審査を受けることになり、支援区分や支援額が変更になったり、支援の対象外となったりすることがあります。

奨学金担当窓口(書類郵送先)

○市ヶ谷キャンパス

法政大学 学生センター厚生課(外濠校舎 1階)

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

○多摩キャンパス

法政大学 学生センター多摩学生生活課(EGG DOME 2階)

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

○小金井キャンパス

法政大学 学生センター小金井学生生活課(管理棟 2階)

〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2